

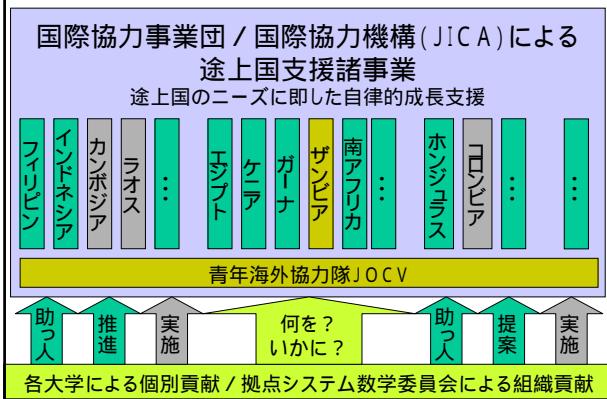
国際教育協力シンポジウム

教育の質的向上を目指す 日本の国際教育協力の展望と課題

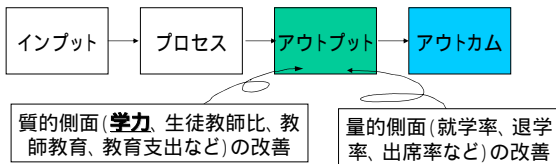
- JICA 算数・数学教育関連プロジェクトを例に -

2004年1月25日
JICA国際総合研修所

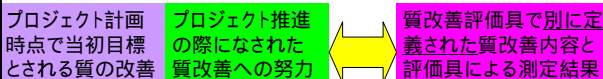
教育協力における質の改善のための枠組み



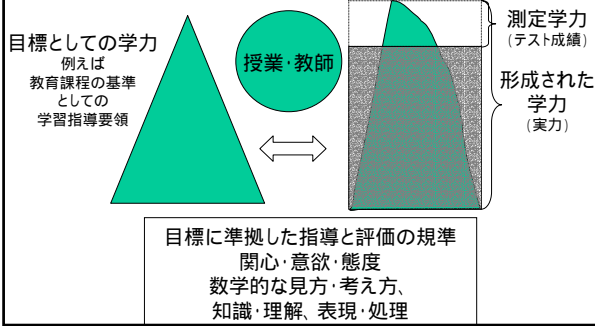
「開発課題に対する効果的アプローチ」 基礎教育編 (JICA) などにみる 質の改善と量の改善



プロジェクト評価における質の改善を測定する際の乖離



教育課程の基準による目標学力 学習指導で実現された形成学力 評価具で定義しえる測定学力



日本の観点別評価について

(例: 文字と式 $- 2x + 4x$)

- 関心・意欲・態度
身の回りの事象に文字式を使おうとする。
- 数学的な見方・考え方
事象を文字式を使って一般的に考える。
- 知識・理解
文字式の意味や表し方の約束を理解する。計算の仕方がわかる。
- 表現・処理
文字式で表せる。計算ができる。

教師の役割



本日のシンポジウムにおける 「教育の質」について

- 測定学力のみではない、目標学力や形成学力を念頭に置いた「教育の質」と教師の役割に関する議論
- 単純なプロダクトではなく、将来の発展の基礎となるアウトカムを意識した、「教育の質」と国際教育協力の意義に関する議論
